

# 1泊2日人間ドック検査項目表

(令和5年度)

検査項目			
◎ 診断及び指導	◎ 血液学的検査	C h e	◎ 歯科口腔外科
	赤血球	アルブミン	専門医による診断
◎ 身体計測	白血球	リパーゼ	口腔がん検診
身長	ヘモグロビン	F e	
体重	ヘマトクリット	P-AMY	◎ 眼 科
肥満度・BMI	MCV	eGFR	専門医による診断
標準体重	MCH	Non-HDL	眼 底
腹 囲	MCHC	U I B C	眼 圧
聴力(6段階音波)	血小板		視 力
◎ 呼吸器系検査	血 沈	◎ 免疫学的検査	
胸部X線(2方向)	血液像	梅毒血清反応	◎ 外 科
肺機能	P I V K A II	RPR法 ※1	専門医による診断
◎ 消化器系検査		TPHA法 ※1	肛門・直腸の診察 ※3
胃部X線検査	◎ 生化学的検査 I		(乳腺検診)
食道・十二指腸	総蛋白	血液型(A B O・R h) ※2	
	L A P	R Aテスト	◎ 泌尿器科(男性)
◎ 超音波検査	A/G比	C R P	専門医による診断
	総ビリルビン	H B s 抗原	(前立腺の診察)
◎ 尿・糞便検査	G O T	C E A	
p H	G P T	H C V 抗体	◎ 婦人科(女性)
比 重	A L P	A F P	専門医による診断
蛋白(定性・定量)	γ-GTP	I g G	子宮頸部癌検査
糖(定量)	L D H	I g A	
ウロビリノーゲン	総コレステロール	I g M	
尿沈渣	L D L-コレステロール	P S A(男性のみ)	※1…希望者のみ
尿潜血反応	H D L-コレステロール	S C C(女性のみ)	※2…初回のみ
便潜血反応(2回法)	中性脂肪		※3…便潜血陽性又は希望者
虫 卵	尿素窒素	◎ 糖負荷試験	
	クレアチニン		
◎ 循環器系検査	尿 酸	◎ H b A 1 c	
血 圧	アミラーゼ		
心電図	C P K		

独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京高輪病院

協会けんぽ生活習慣病予防健診受診者 様

## 人間ドックのおすすめ

独立行政法人 地域医療機能推進機構  
**東京高輪病院**  
 健康管理センター  
 T E L 03-3443-9555(直通)月～金8:00-15:00  
 F A X 03-3443-9873

このたびは、健康診断のお申し込みをいただきまして、ありがとうございます。  
 当病院では、生活習慣病健診を受診される方に、より検査内容の充実した『付加健診』『日帰り人間ドック』『1泊2日人間ドック』をご用意しております。ぜひ、この機会にご利用いただきますよう、ご案内を申し上げます。

一般健診(生活習慣病予防健診)からこれらのお勧めする健診への変更や、予約日の変更のご連絡は受診予定日の1週間前までにお願いいたします。

### 胃部X線から胃内視鏡への変更について

- ・ご希望の方は胃部X線から胃内視鏡に変更することができます。
- ・ただし、6,600円(税込)の追加料金(内視鏡差額料金)が発生します。
- ・人数に制限がございますのでご希望の場合はお早めにご予約ください。スタッフ一同ご利用をお待ちしております。

### 【健診ご負担金一覧表】(注1)

(税込金額)

対象者	一般健診のみ (生活習慣病予防健診)	付加健診 (注2)	日帰り人間 ドック(注3)	1泊2日 人間ドック(注3)
H.01.4.1以前生まれの被保険者 (35歳以上)	5,280円	19,430円	32,630円	58,480円
上の欄のうち S58.4.2～S59.4.1生(40歳) S48.4.2～S49.4.1生(50歳) 被保険者	5,280円	7,969円	23,020円	51,560円
上の欄のいずれにも該当しない方	23,100円	33,000円	46,200円	72,050円

(注1) ※上記料金は子宮がん・乳がん検診の料金は含まれておりません。

(注2) ※付加健診は協会けんぽの制度に基づいた健診です。

(注3) ※日帰り人間ドック・1泊2日人間ドックは当病院で設定した検査項目による健診です。

# 令和5年度 協会けんぽ健診検査項目説明表

- =生活習慣病予防健診及び付加健診、人間ドックすべてに含まれる検査
- =付加健診及び人間ドックに含まれる検査
- =人間ドックのみに含まれる検査

	検査項目	実施項目	検査内容	
X線	胸部直接撮影	●	肺、心臓、大動脈、その他気管支、鎖骨、肋骨、脊椎などをみる。	
	胃部直接撮影	●	食道、胃、十二指腸をみる。	
尿検査	糖・蛋白・潜血	●	糖尿病と腎臓・尿路系のチェック。	
	沈渣顕微鏡検査	●●	尿中の赤血球、白血球、上皮細胞、細菌などを顕微鏡で観察する。腎臓・尿路系のチェック。	
	ウロビリノーゲン	●●	肝臓疾患のチェック。個人差があり、また肉食、運動、飲酒、便秘などで増加することもある。	
	比重	●●	尿の濃縮度をみる。腎不全などの腎臓疾患、糖尿病などの代謝性疾患、内分泌疾患などのチェック。	
	Ph	●●	酸性尿、アルカリ尿のチェック。	
計測	一般	●	身長、体重、肥満度および近視力検査。	
	眼底検査	●●	緑内障、白内障のほか、網膜、眼底血管の異常の有無をみる。眼底血管では動脈硬化や眼底出血、糖尿病に関係する変化を観察。	
	眼圧検査	●●	緑内障などの疾患の観察。	
聴力	オーディオ	●	聴力の検査。	
循環器	心電図	●	脈拍数、不整脈の有無、心電図波形を観察。	
	血圧	●	高血圧・低血圧の有無。	
呼吸器	肺機能検査	●●	肺活量ほかの呼吸機能を測定し、慢性気管支炎、肺気腫などの呼吸器疾患の早期発見と重症度評価。	
	腹部超音波検査	●●	超音波により、肝臓、胆のう、腎臓、脾臓、膵臓、腹部大動脈をみる。脂肪肝、胆のうポリープ、胆石、腎臓結石、腎のう胞、肝のう胞、各臓器のガンなどについて調べる。	
血液一般検査	WBC	●	白血球数	
	RBC	●	赤血球数	
	Hb	●	赤血球の血色素量	
	Ht	●	赤血球の血色素量	
	血小板数	●●	血小板数	
	抹消血液像	●●	白血球の種類、各々の比率をみる。炎症性の疾患では比率が変化する。また、血液の病気でも異常が出ることがある。	
	MCV・MCH・MCHC	●●	いずれも貧血の種類を推定するのに用いる指数。赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリットなどから計算して算出する。	
	血沈	●●	血液沈降速度という。種々の疾患で、亢進するが、主に炎症の指標となる。その他、貧血や妊娠でも高値を示す。	
糖尿病検査	血糖	●	早朝空腹時の血糖。糖尿病の検査。	
	HbA1c	●●	数週間前の血糖の日内変動を推定する糖尿病の検査。	
脂質系検査	総コレステロール	●	血液で脂質をみる。コレステロールと中性脂肪の増加やHDL-Cコレステロール(善玉コレステロール)の低下は動脈硬化を促進する危険因子。	
	中性脂肪(TG)	●		
	HDL-Cコレステロール	●		
	LDL-Cコレステロール	●	悪玉コレステロールの増加は動脈硬化を促進する危険因子。	
腎臓系検査	尿素窒素	●●	尿素窒素、クレアチニン、eGFRともに、腎臓機能の指標。尿素窒素は脱水症など腎臓疾患以外でも上昇することがある。	
	クレアチニン	●●		
	eGFR	●●		
	尿酸	●	上昇により痛風を起こす。動脈硬化を促進する危険因子でもある。	
	TP	●●	種々の疾患と関連するので、単独の異常で疾患を推定できることは少ない。腎臓疾患、低栄養状態などで低下する。	
	アルブミン	●●	血清中の蛋白。ネフローゼなどの腎臓疾患や栄養障害で低下する。総蛋白同様、単独ではなくほかの検査結果と合わせて、異常かどうか判断する。	
	A/G比	●●	アルブミンとグロブリンの比率。主に腎臓疾患のチェック。総蛋白同様、単独ではなくほかの検査結果と合わせて、異常かどうか判断する。	
肝機能系検査	GOT	●	肝臓機能をみる。肝臓の機能が低下すると値が上昇。異常を示す代表的な疾患は、急性、慢性肝炎、アルコール性肝障害、ウィルス肝炎、脂肪肝など。	
	GPT			
	ALP	●		肝臓、胆のうの疾患で主に上昇する。ガンの骨転移など、骨の病気で上昇することもある。
	γ-GTP	●		肝臓、胆のうの疾患で主に上昇する。特に、アルコールとの関係が強く、アルコール性肝障害で上昇が見られる。
	総ビリルビン	●●		胆のう、肝臓の疾患に関連して上昇する。特殊な貧血や体質(体質性黄疸)で高値を示すこともある。
	LDH	●●		肝臓の他、心臓、腎臓、筋肉、膵臓、脾臓など多くの臓器に含まれ、それらの臓器、組織が損傷を受けると上昇する。肝臓疾患のほか、心筋梗塞、白血病、ガン、筋炎などでも、上昇するが、LDH単独ではなく、他の検査と合わせて異常かどうか判断する。
	コリンエステラーゼ	●●		肝臓細胞のタンパク合成能力を反映する。肝臓疾患(急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝ガン)で、低下する。肥満や脂肪肝では、軽度高値を示す。
	LAP	●●		肝臓、胆のうの疾患で上昇する。
	HBs抗原	●●	B型肝炎のキャリアであるかのチェック。	
	HCV抗体	●●	C型肝炎のキャリアであるかのチェック。	
その他の血液検査	CPK	●●	全身の筋肉に含まれる酵素の一つ。筋肉が障害されると上昇する。筋炎、心筋梗塞で異常値を示す。激しい運動の後にも上昇する。	
	アミラーゼ	●●	主に膵臓に含まれる酵素で膵臓機能検査として施行する。膵臓の他に耳下腺、唾液腺にも含まれるので、これらの部位の疾患で上昇することもある。	
	RA	●	慢性関節リウマチや膠原病などの自己免疫疾患のスクリーニング検査。リウマチ以外にも、高齢者、糖尿病、肝硬変、慢性感染症などで陽性になる事もある。	
	CRP	●	炎症反応といわれているもの。なんらかの炎症性疾患があるときに上昇する。従って、風邪やへんとう炎などでも上昇する。	
	AFP	●●	腫瘍マーカーと呼ばれるガンのスクリーニングテストのひとつ。主に肝臓ガンをターゲットにしているが、慢性肝炎、肝硬変でも高値を示す。	
	CEA	●●	腫瘍マーカーと呼ばれるガンのスクリーニングテストのひとつ。主に大腸ガンをターゲットにしている。その他、膵臓ガン、胆管ガン、肺ガンでも上昇する。肝炎、肝硬変、糖尿病、膠原病などの良性疾患でも上昇する事があり、また、喫煙や加齢で軽度の上昇を示すこともある。	
		RPR・TPHA法	●●	梅毒の検査。
		血液型ABO・Rh	●●	血液型の検査(初回のみ)。
その他	便潜血(2回法)	●●	便中の血液反応をみる。大腸ガン、大腸ポリープ等大腸の病気のスクリーニング。痔や歯茎の出血でも陽性になる。	
	乳ガン子宮頸ガン健診	●●	マンモグラフィー検査(視・触診は医師の判断により実施)。婦人科診察及び子宮頸ガンをみる。完全予約制。※補助には対象年齢あり。	
	問診	●		